


島津中形電子天びん
校正分銅内蔵形

EB-KWシリーズ

EB-12KHW, EB-32KDW
EB-16KSW, EB-16KHW
EB-32KSW

取扱説明書



 **島津製作所**

試験計測事業部


島津中形電子天びん
校正分銅内蔵形

EB-KWシリーズ

EB-12KHW, EB-32KDW
EB-16KSW, EB-16KHW
EB-32KSW

取扱説明書



 **島津製作所**

試験計測事業部


島津中形電子天びん
校正分銅内蔵形

EB-KWシリーズ

EB-12KHW, EB-32KDW
EB-16KSW, EB-16KHW
EB-32KSW

取扱説明書



 **島津製作所**

試験計測事業部


島津中形電子天びん
校正分銅内蔵形

EB-KWシリーズ

EB-12KHW, EB-32KDW
EB-16KSW, EB-16KHW
EB-32KSW

取扱説明書



 **島津製作所**

試験計測事業部


島津中形電子天びん
校正分銅内蔵形

EB-KWシリーズ

EB-12KHW, EB-32KDW
EB-16KSW, EB-16KHW
EB-32KSW

取扱説明書



 **島津製作所**

試験計測事業部


島津中形電子天びん
校正分銅内蔵形

EB-KWシリーズ

EB-12KHW, EB-32KDW
EB-16KSW, EB-16KHW
EB-32KSW

取扱説明書



 **島津製作所**

試験計測事業部


島津中形電子天びん
校正分銅内蔵形

EB-KWシリーズ

EB-12KHW, EB-32KDW
EB-16KSW, EB-16KHW
EB-32KSW

取扱説明書



 **島津製作所**

試験計測事業部


島津中形電子天びん
校正分銅内蔵形

EB-KWシリーズ

EB-12KHW, EB-32KDW
EB-16KSW, EB-16KHW
EB-32KSW

取扱説明書



 **島津製作所**

試験計測事業部


島津中形電子天びん
校正分銅内蔵形

EB-KWシリーズ

EB-12KHW, EB-32KDW
EB-16KSW, EB-16KHW
EB-32KSW

取扱説明書



 **島津製作所**

試験計測事業部


島津中形電子天びん
校正分銅内蔵形

EB-KWシリーズ

EB-12KHW, EB-32KDW
EB-16KSW, EB-16KHW
EB-32KSW

取扱説明書



 **島津製作所**

試験計測事業部

2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

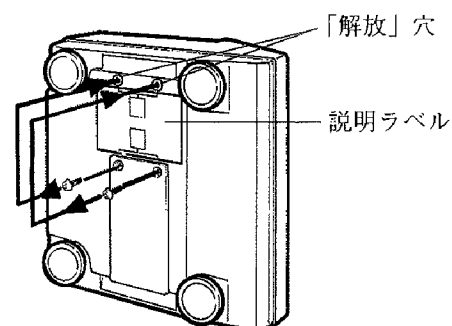
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

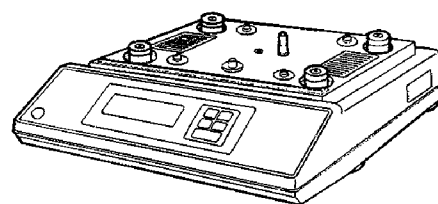
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

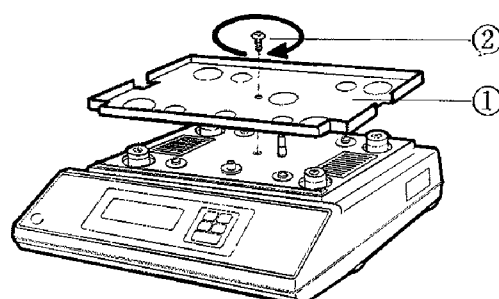
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



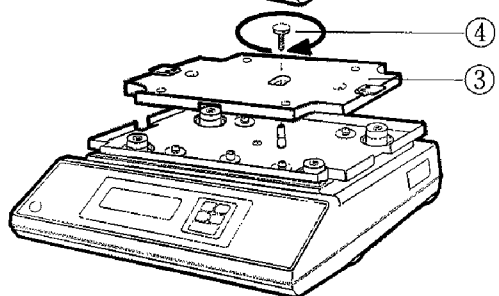
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



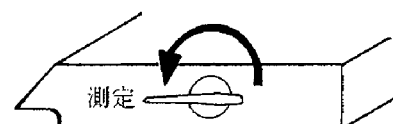
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

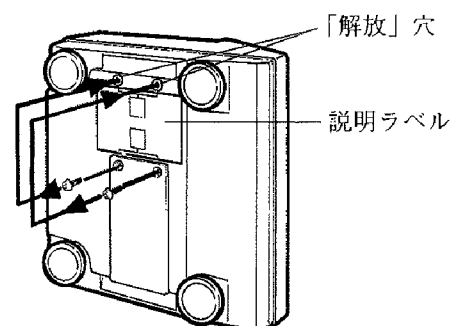
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

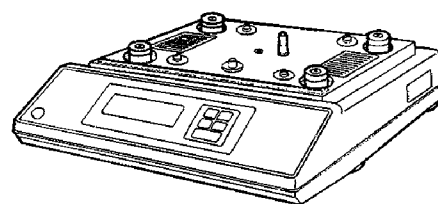
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

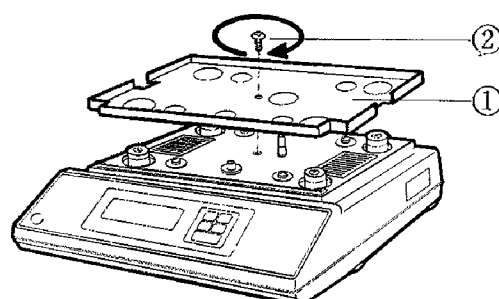
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



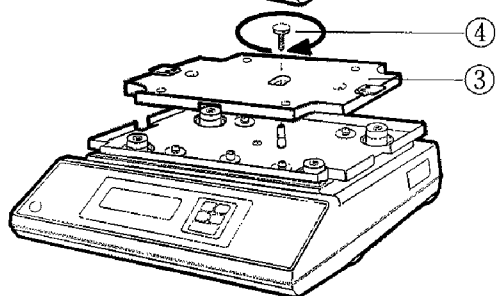
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



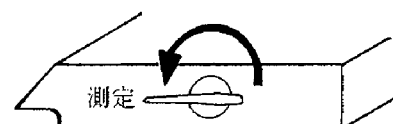
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

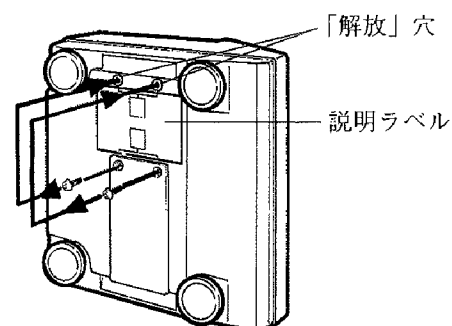
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

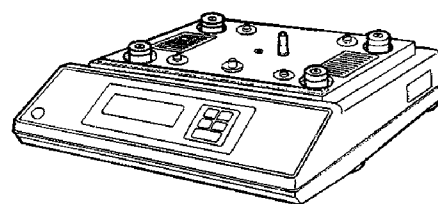
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

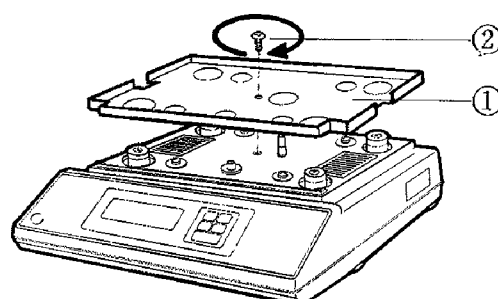
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



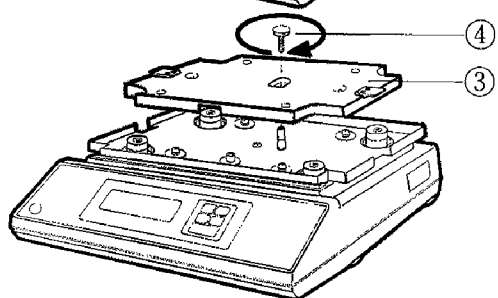
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



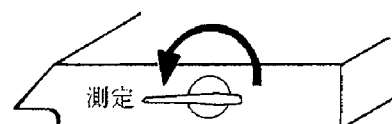
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

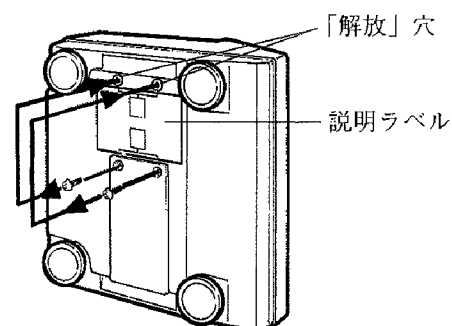
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

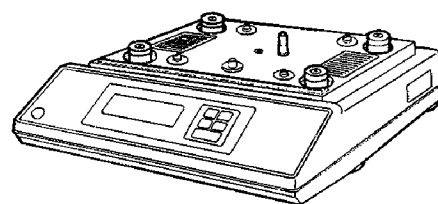
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

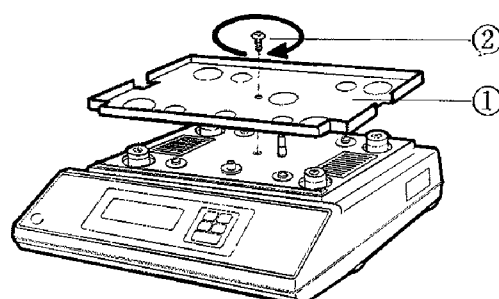
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



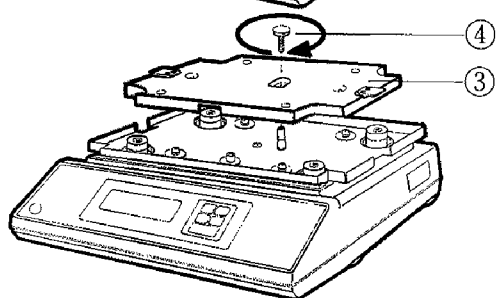
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



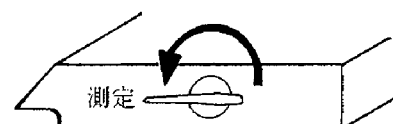
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

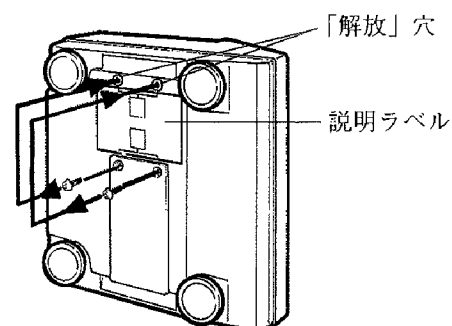
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

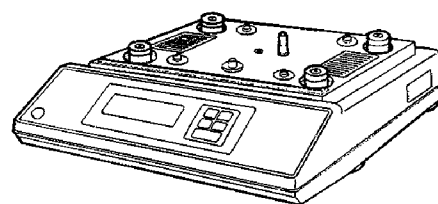
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

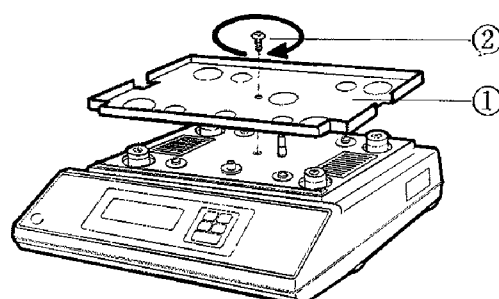
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



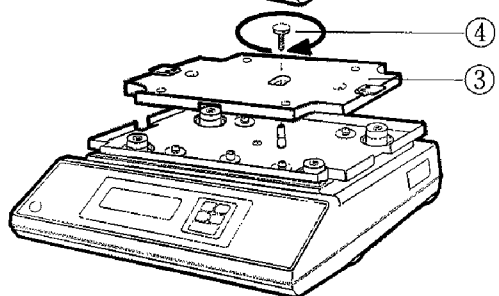
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



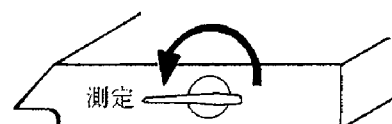
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

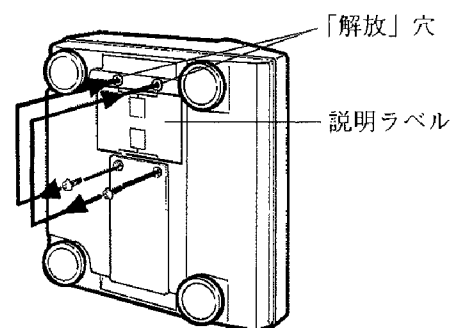
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

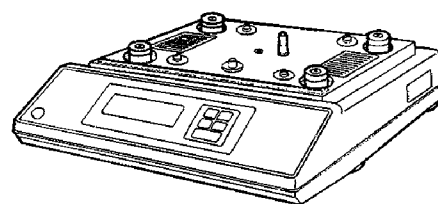
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

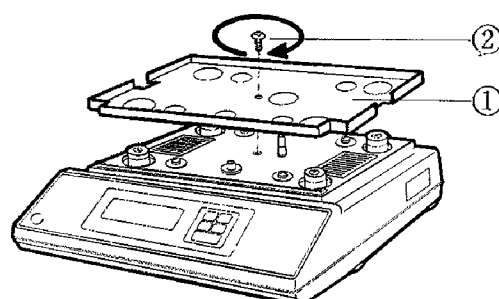
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



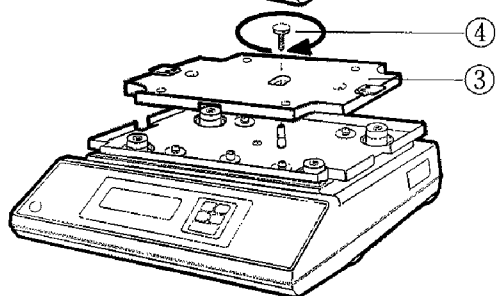
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



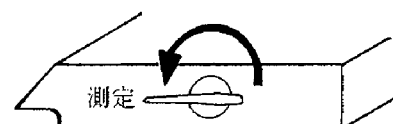
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

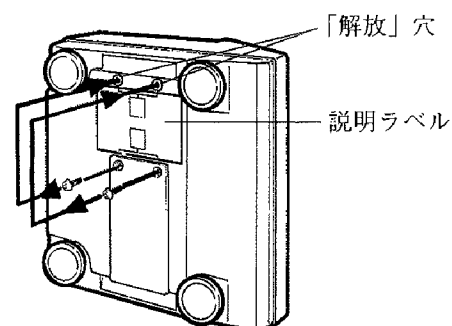
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

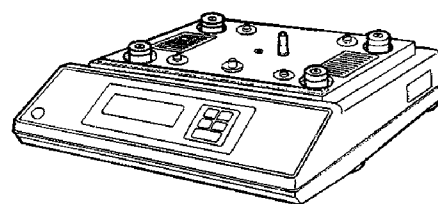
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

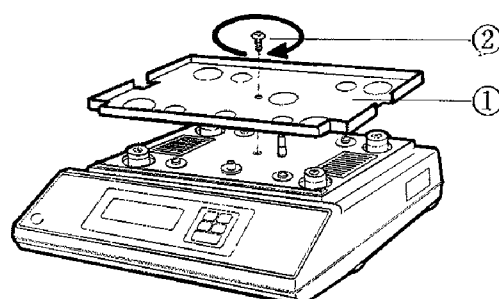
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



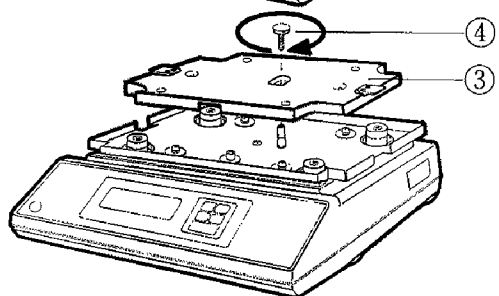
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



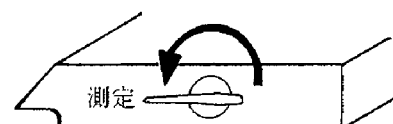
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

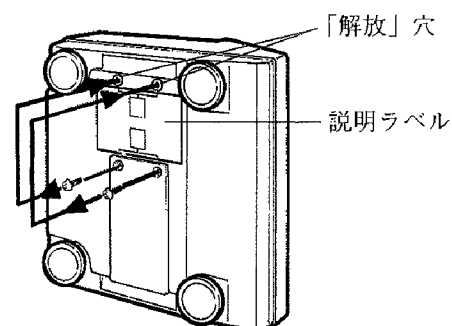
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

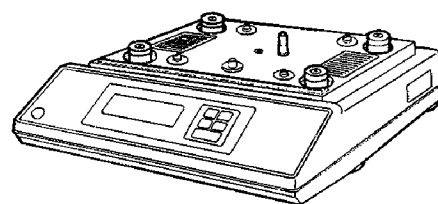
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

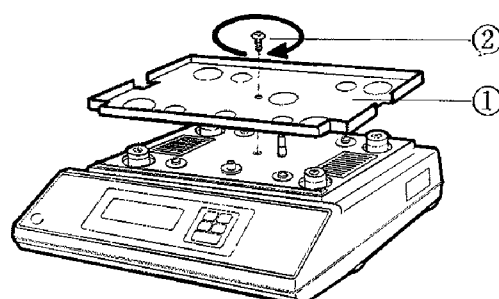
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



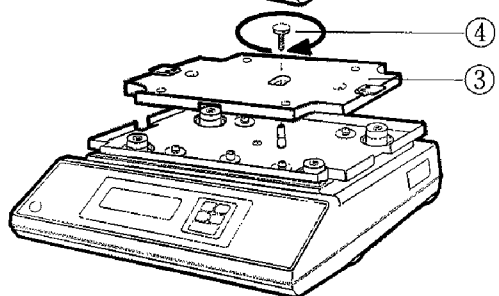
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



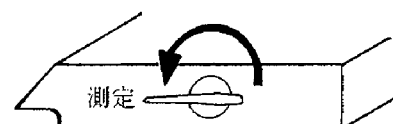
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

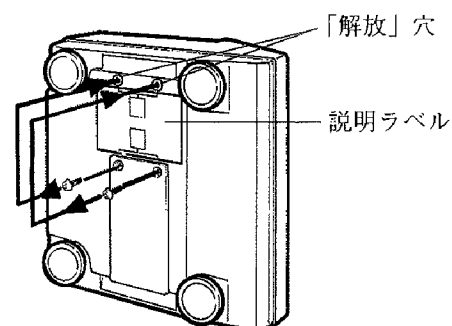
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

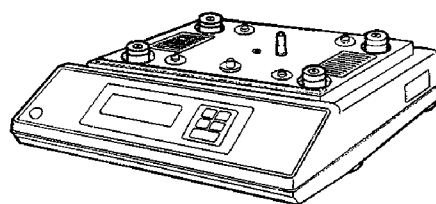
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

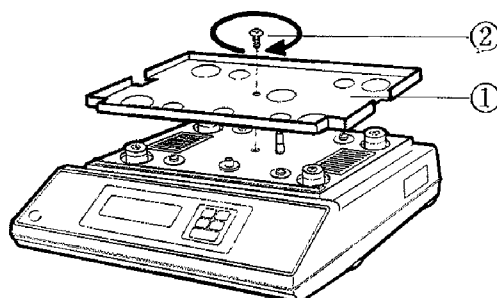
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



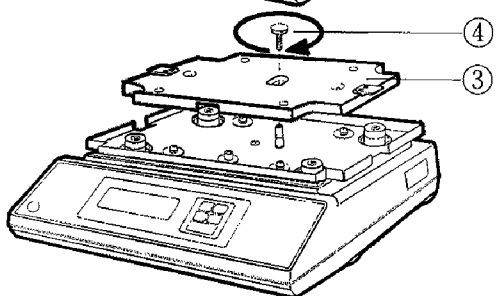
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



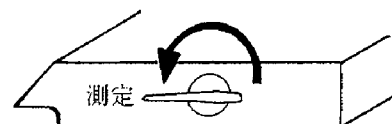
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

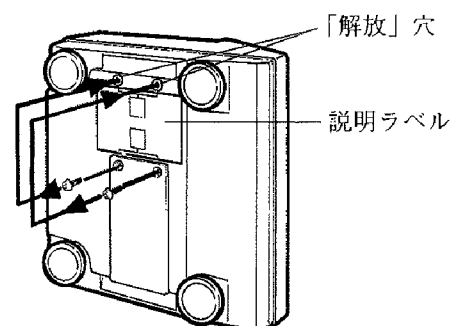
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

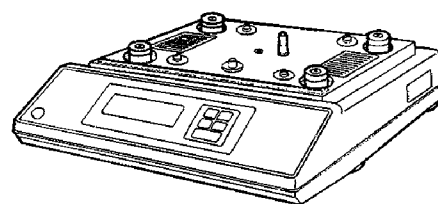
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

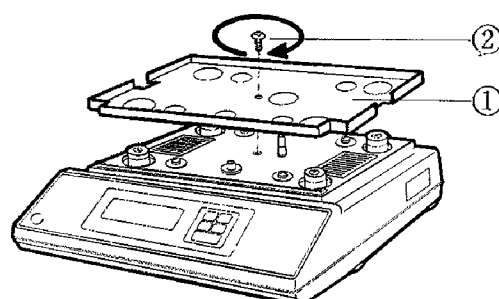
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



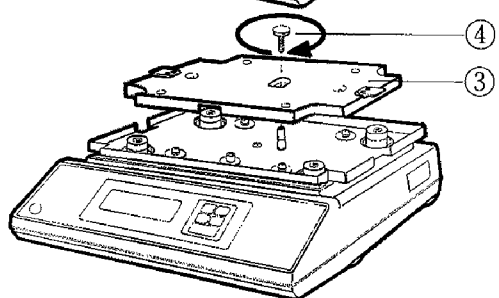
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



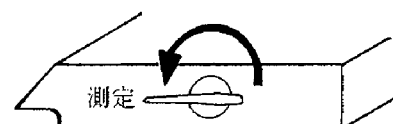
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

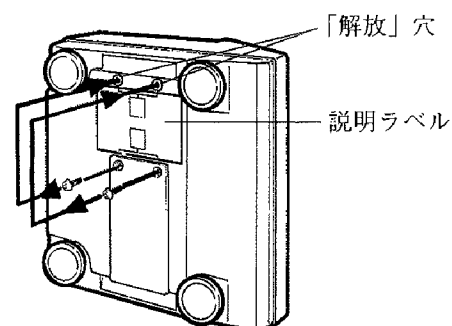
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

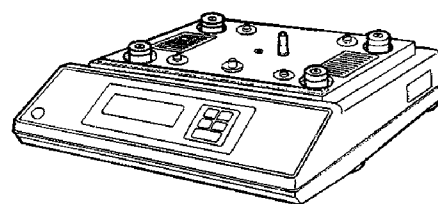
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

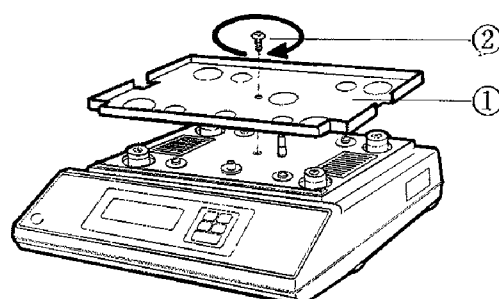
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



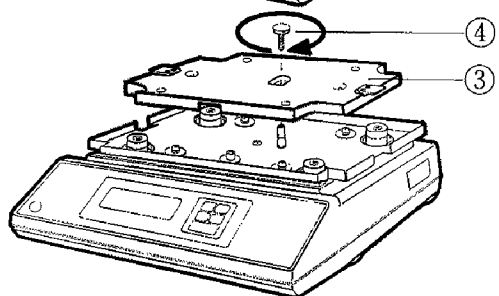
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



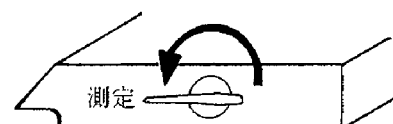
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

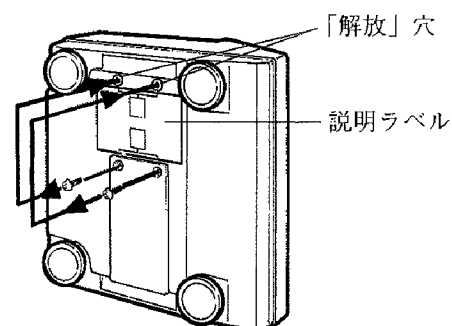
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

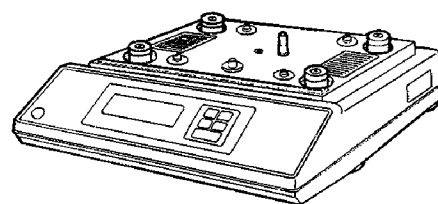
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

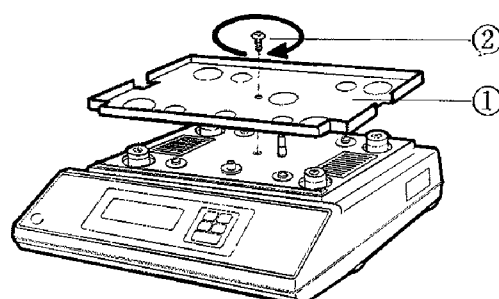
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



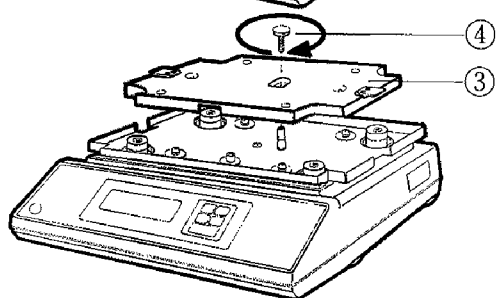
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



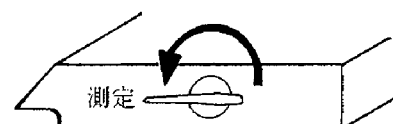
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

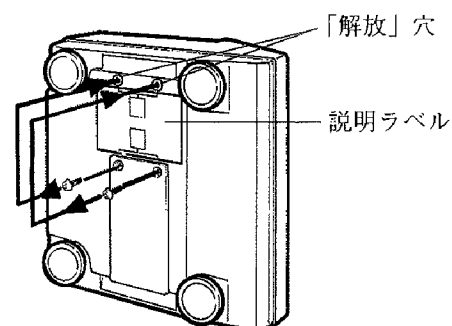
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

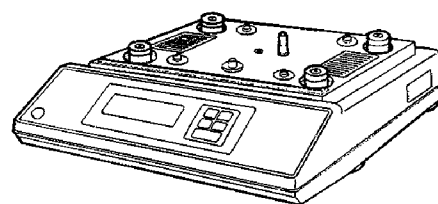
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

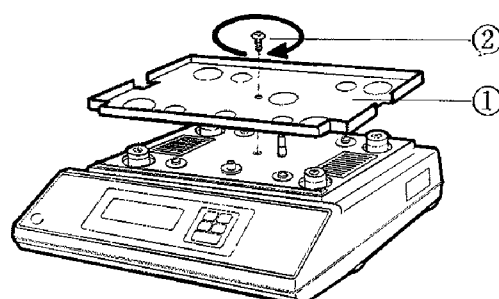
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



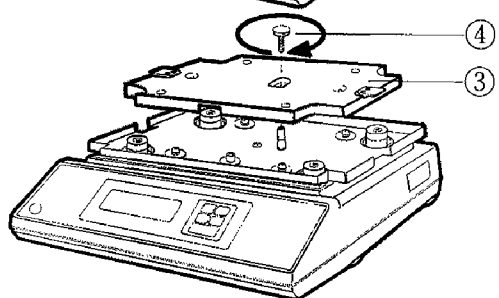
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



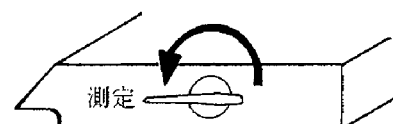
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

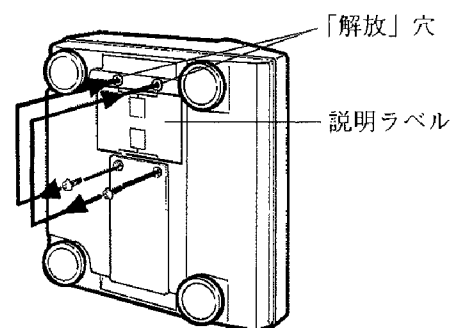
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

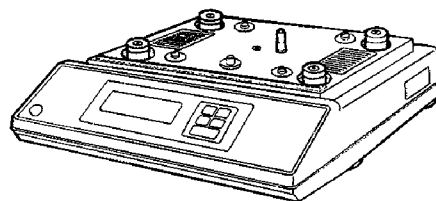
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

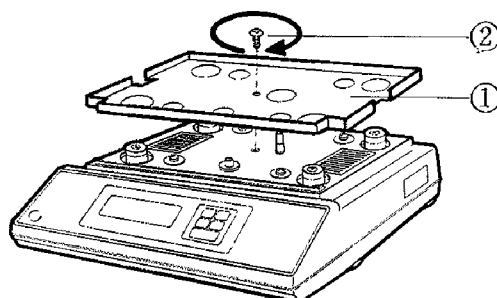
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



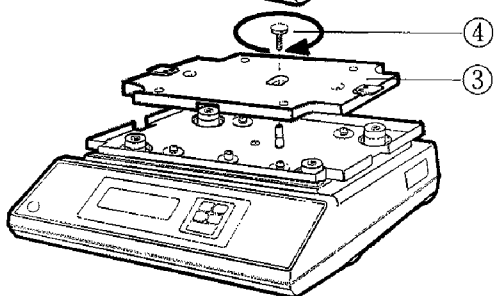
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



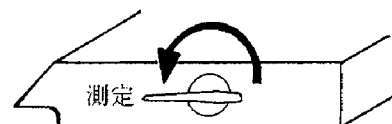
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

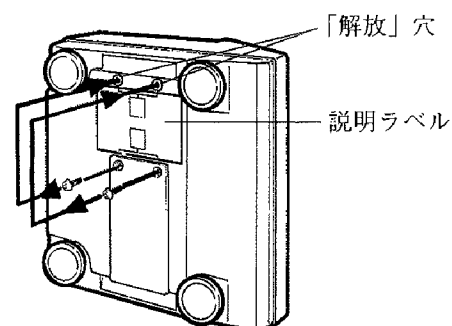
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

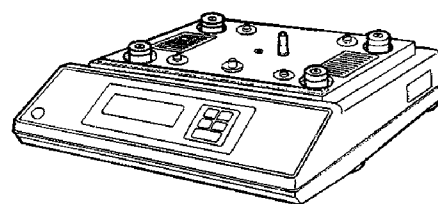
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

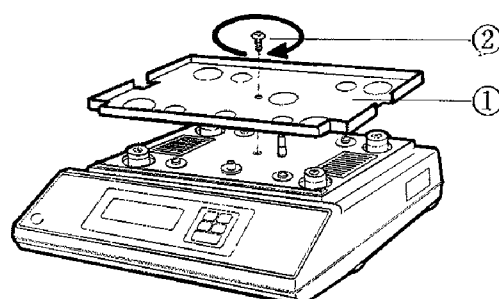
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



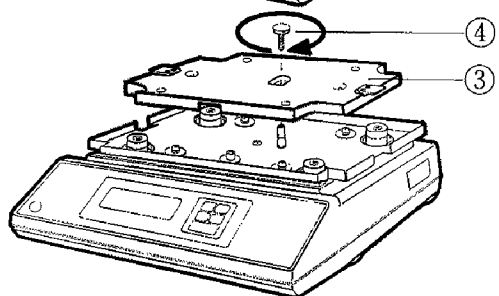
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



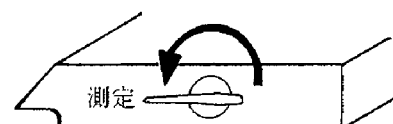
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 測定 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

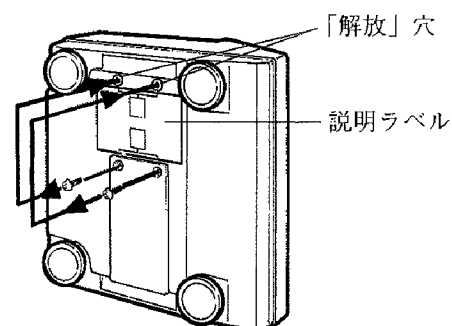
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

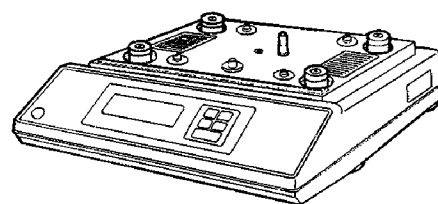
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

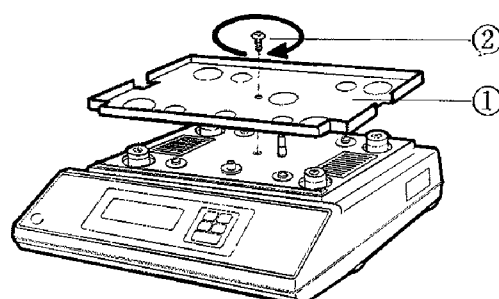
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



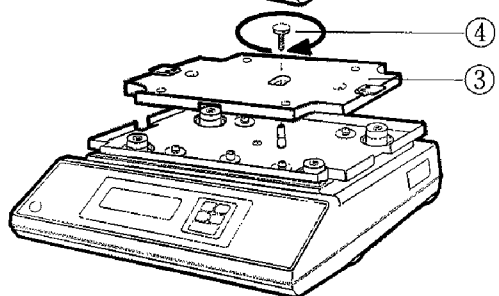
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



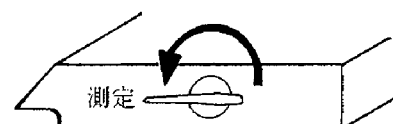
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

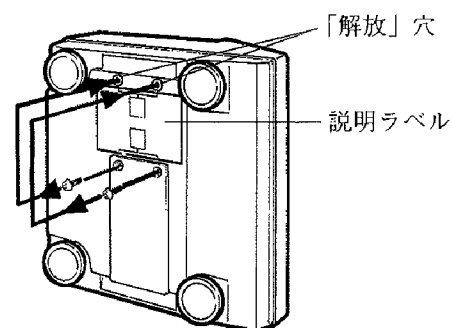
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

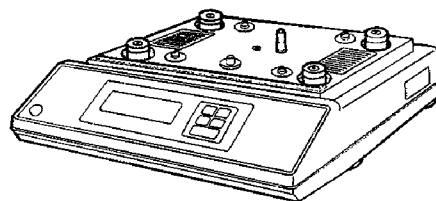
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

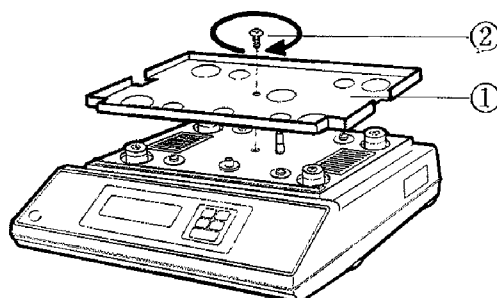
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



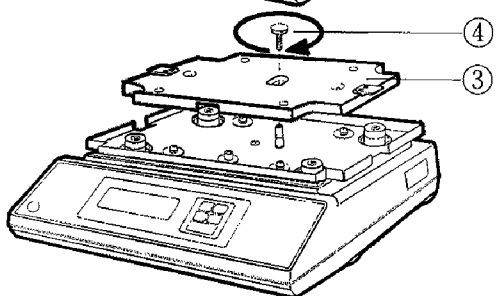
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



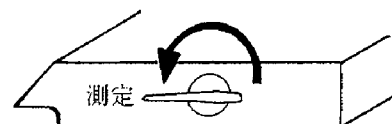
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

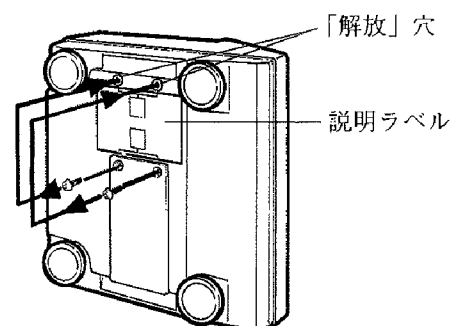
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

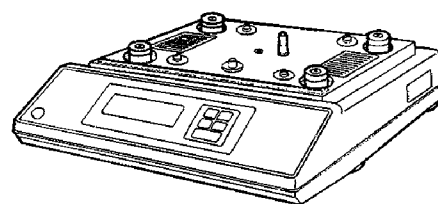
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

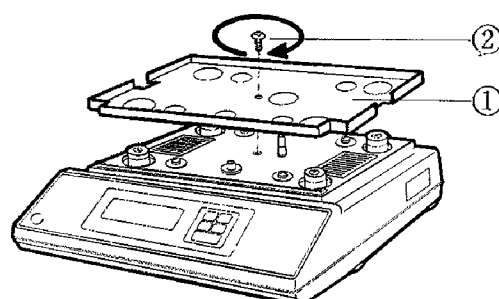
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



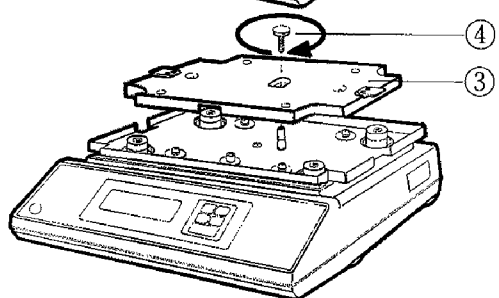
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



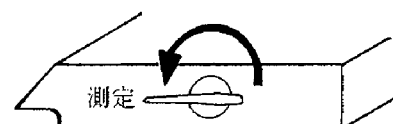
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

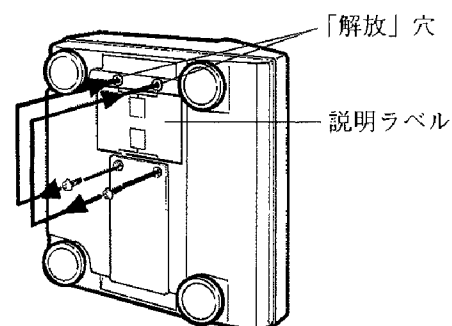
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

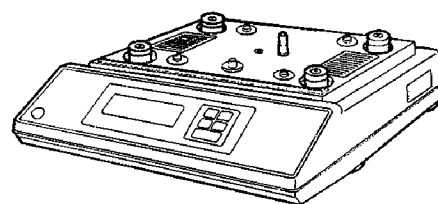
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

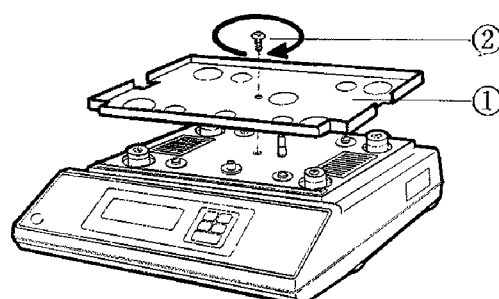
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



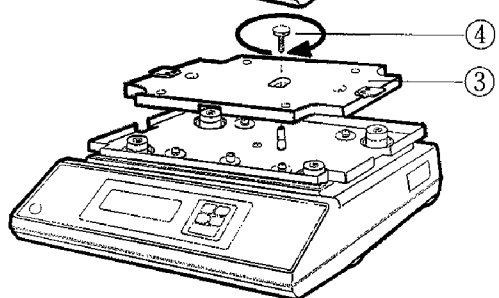
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



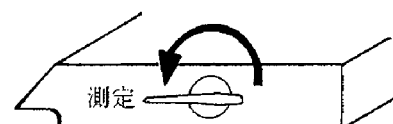
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

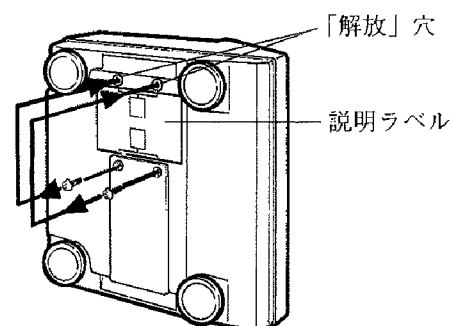
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

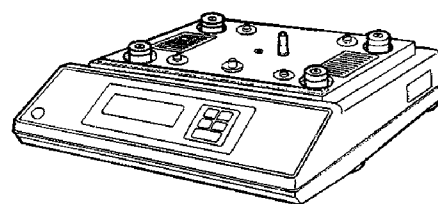
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

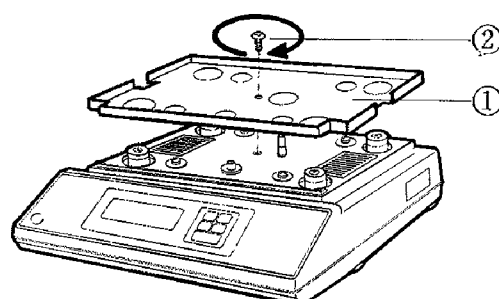
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



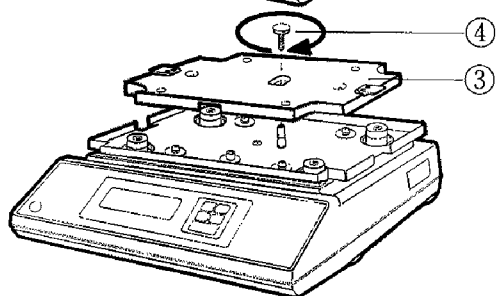
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



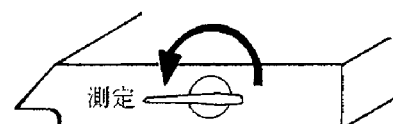
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

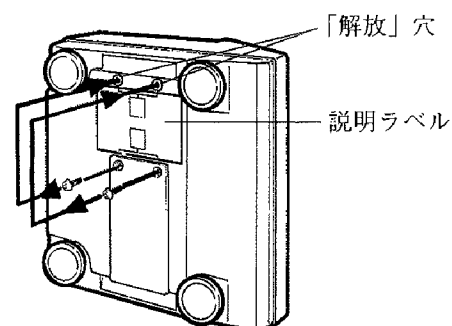
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

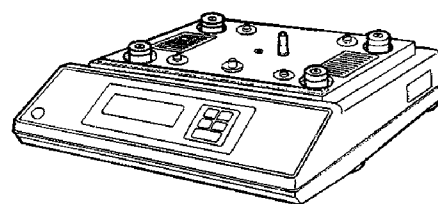
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

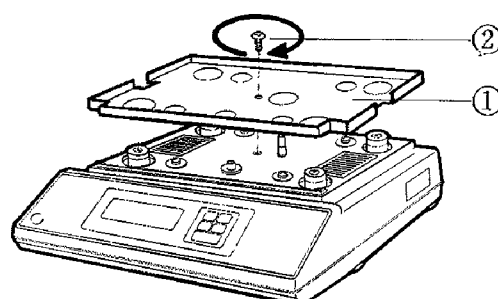
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



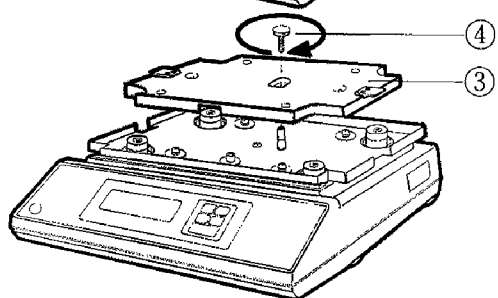
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



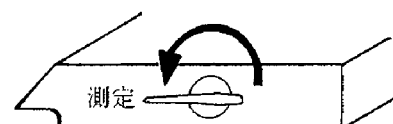
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

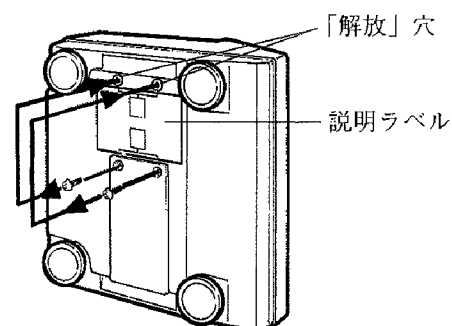
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

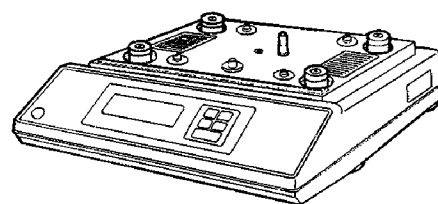
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

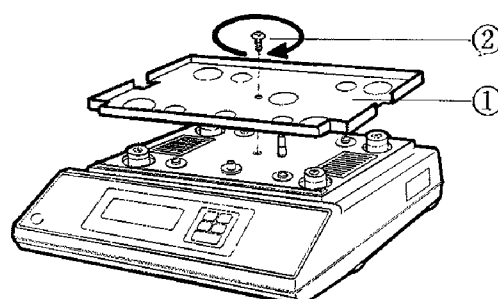
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



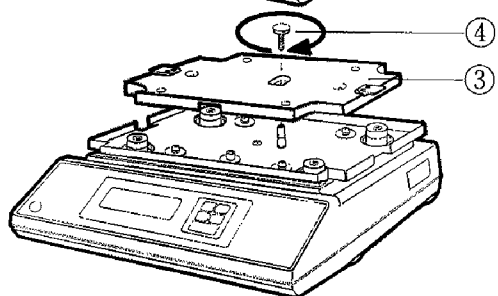
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



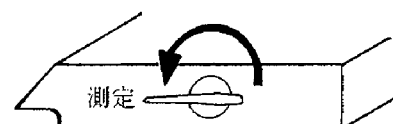
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

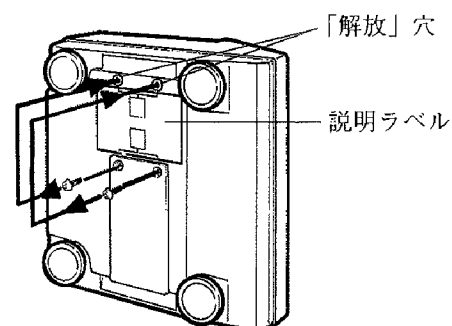
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

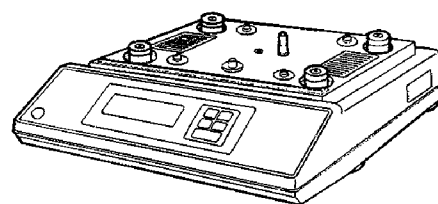
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

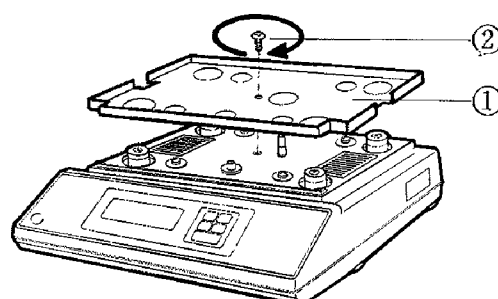
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



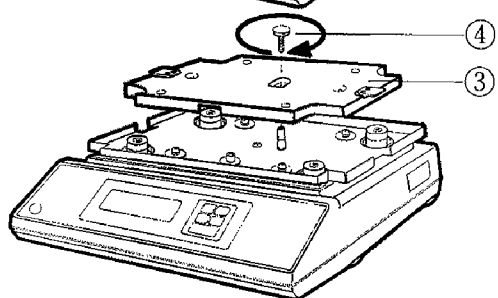
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



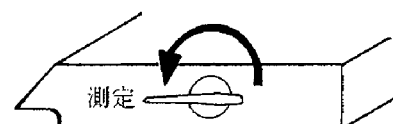
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

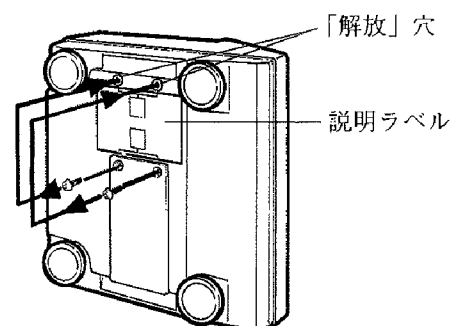
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

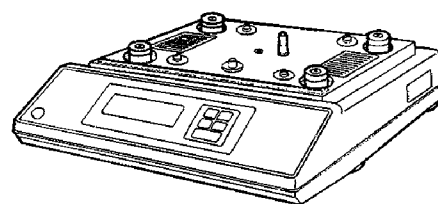
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

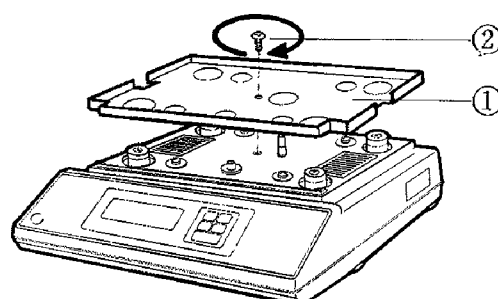
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



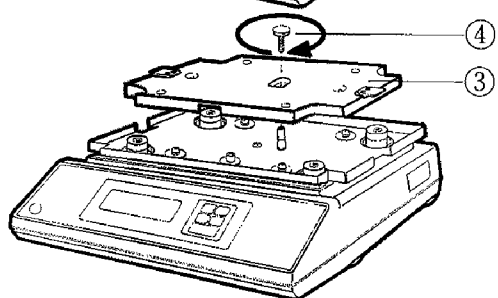
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



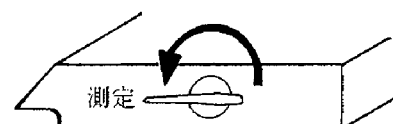
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

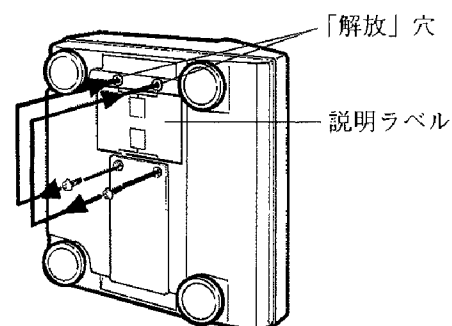
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

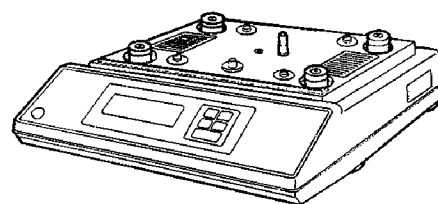
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

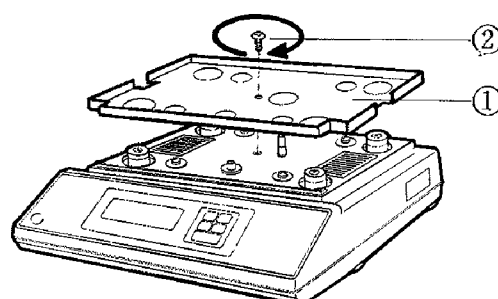
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



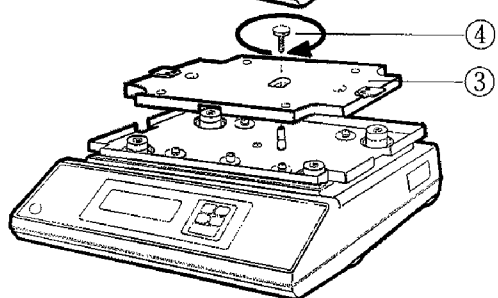
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



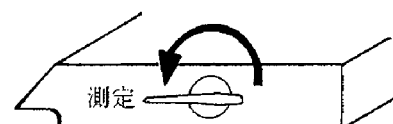
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

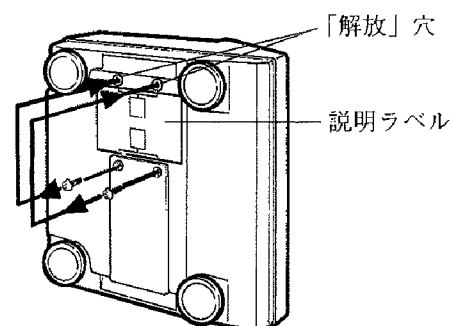
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

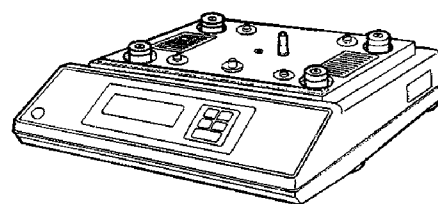
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

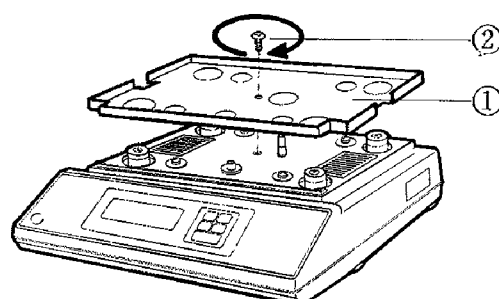
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



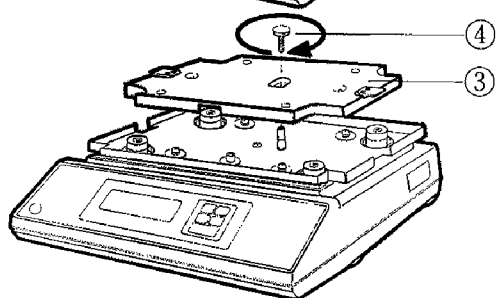
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



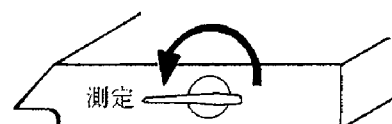
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

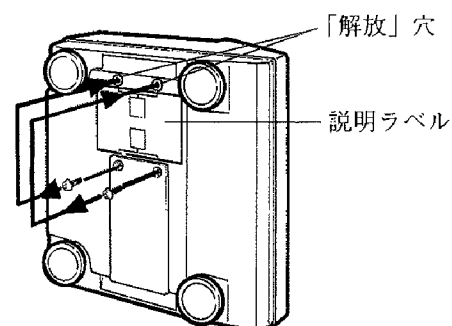
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

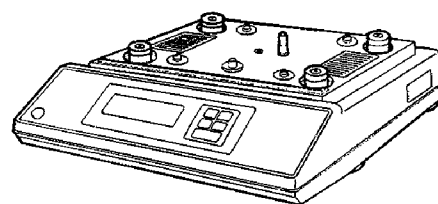
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

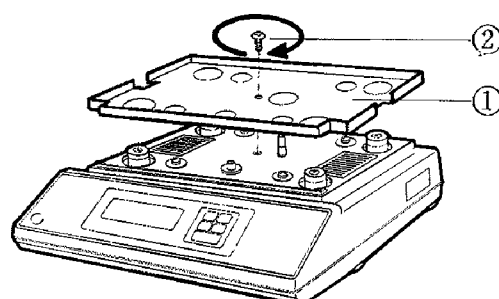
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



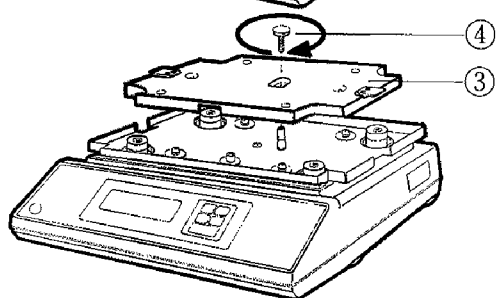
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



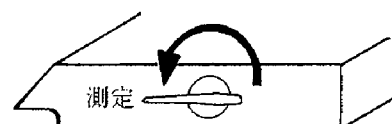
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

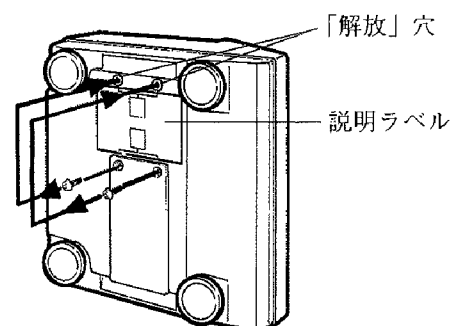
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

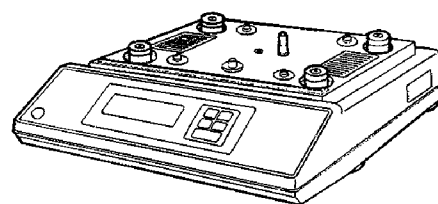
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

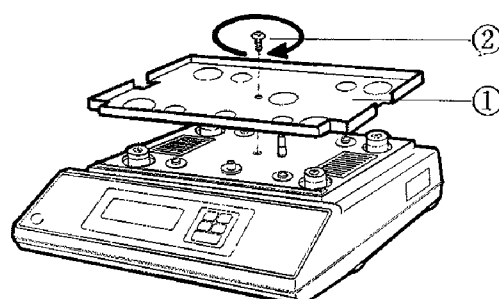
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



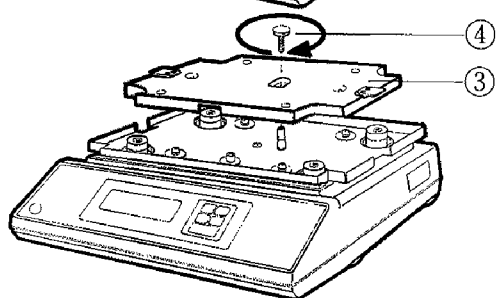
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



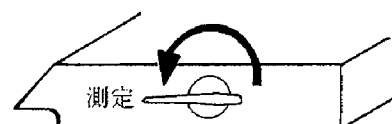
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

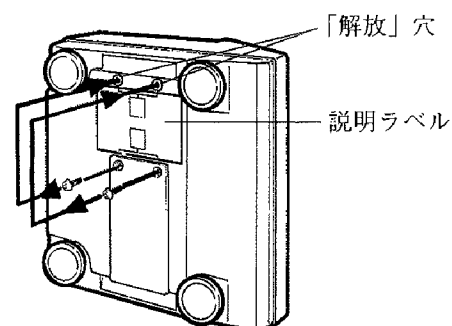
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

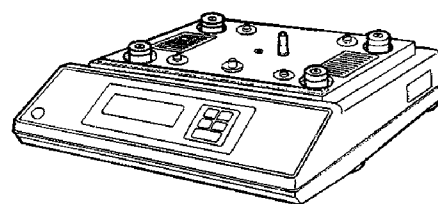
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

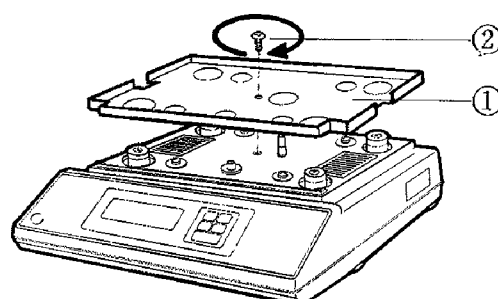
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



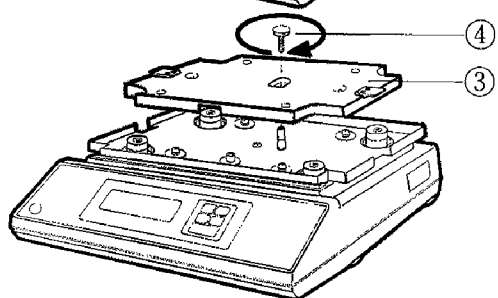
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



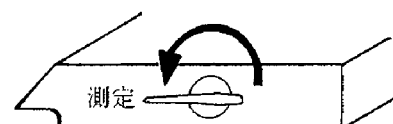
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

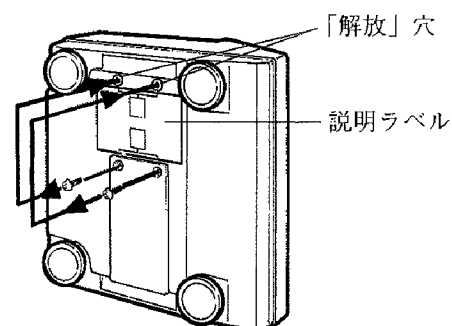
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

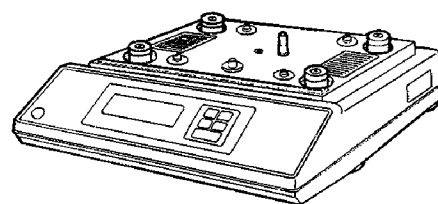
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

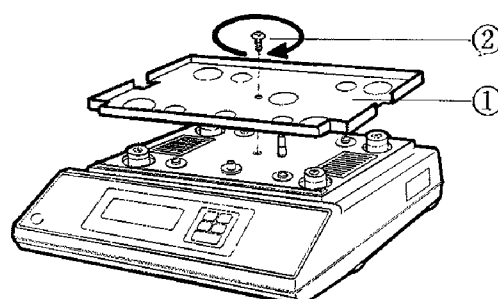
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



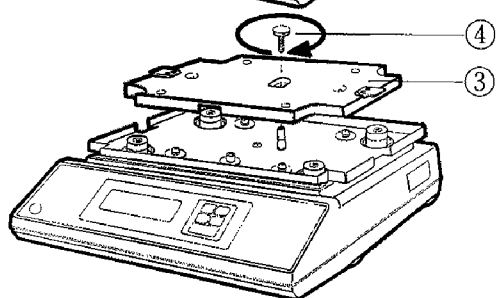
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



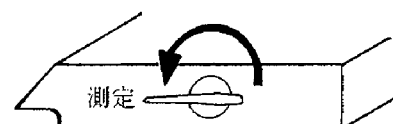
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。

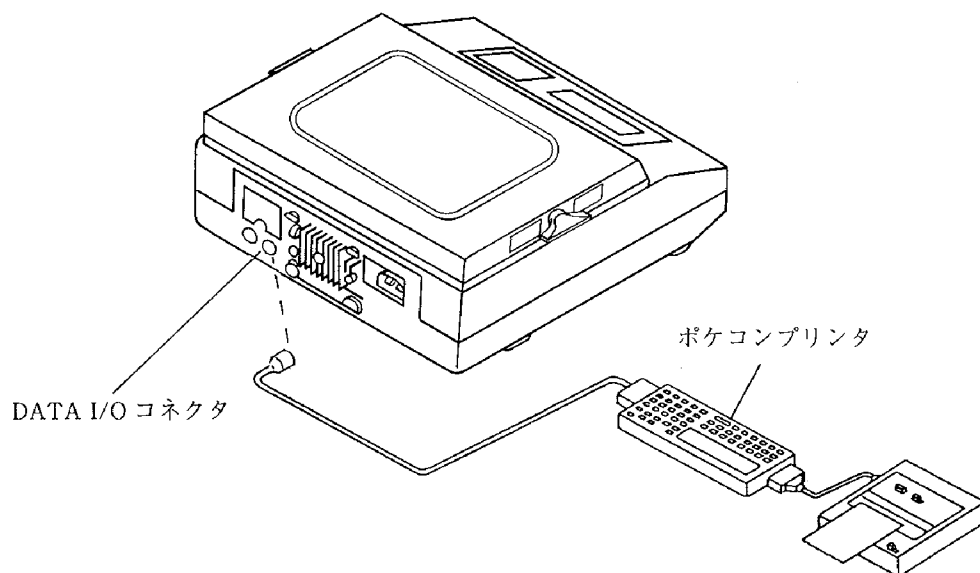


(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



18.4 ポケコンプリンタCD-PCE650の使い方

接続 天びんの電源コードを抜いてから、下図のように DATA I/O コネクタに接続します。



機能 BASIC 言語による自由なデータ処理ができます。

- ユーザ R A M エリア：標準 64KB
バッテリーバックアップ方式
- 7 種類のソフトウェアを標準付属
- 応用測定（パーセント換算、正味総量測定、積込み測定、オートプリント、動物測定）や統計計算も簡単に行なえます。（使用できる機能については、『18.1 周辺機器の機能一覧』を参照してください。）

使い方 使い方の詳細については、ポケコンプリンタの取扱説明書をご覧ください。なお、条件設定プログラムでは、天びん機種 2 を選択して下さい。各種アプリケーションソフトの作成についてもご相談に応じます。

2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

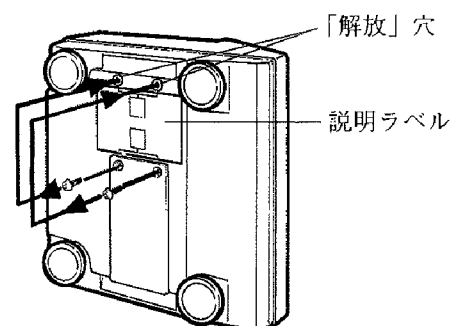
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

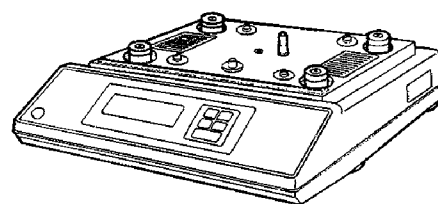
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

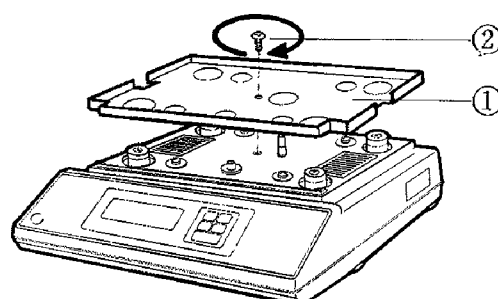
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



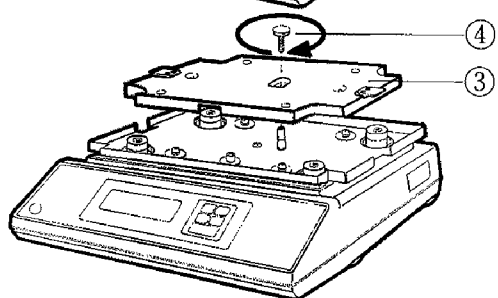
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



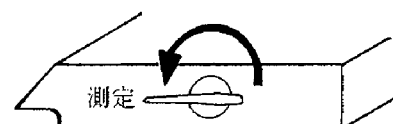
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

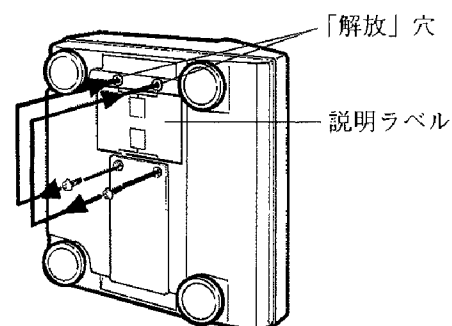
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

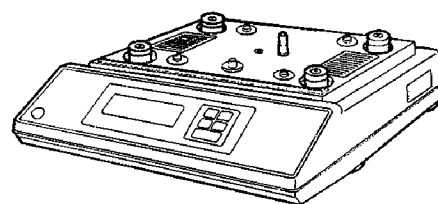
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

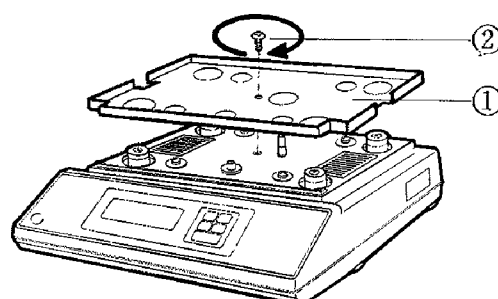
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



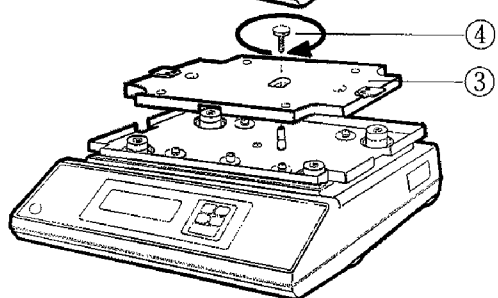
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



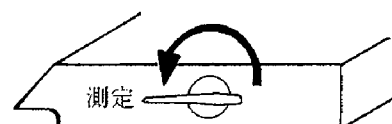
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

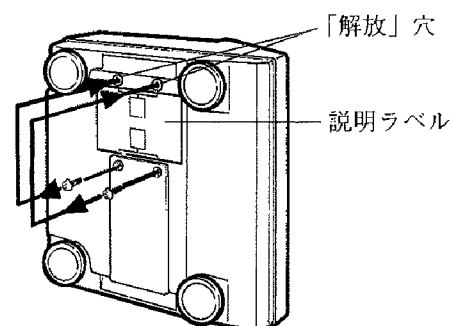
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

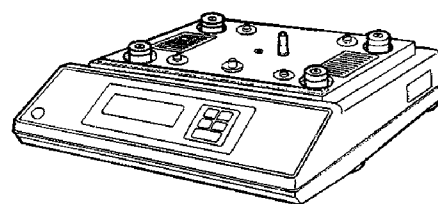
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

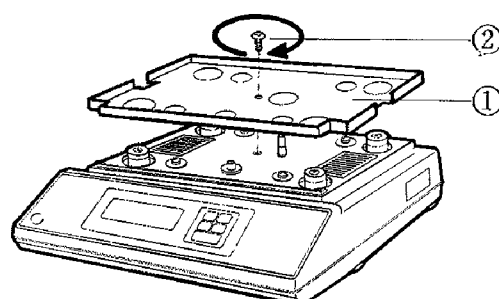
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



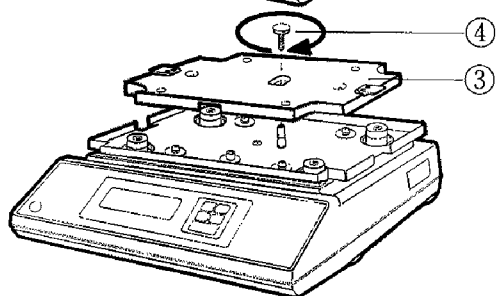
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



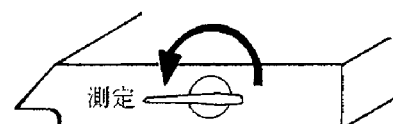
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

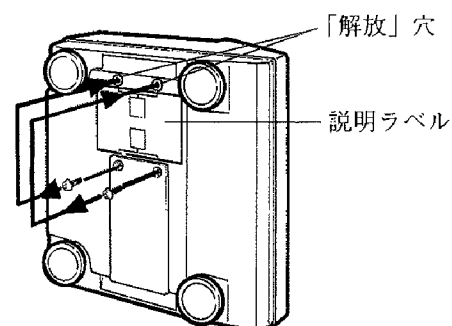
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

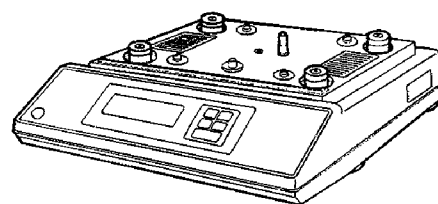
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

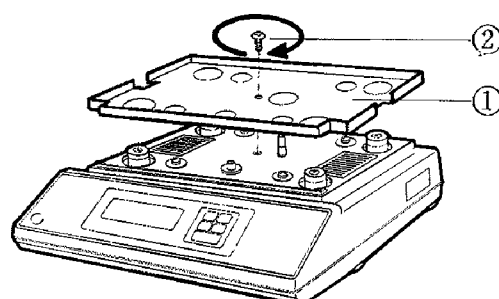
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



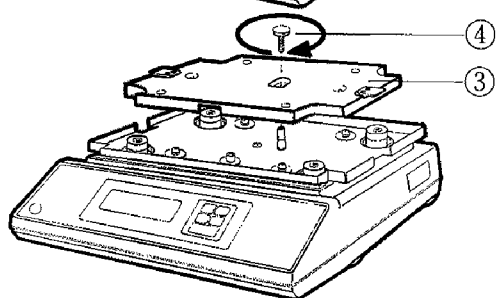
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



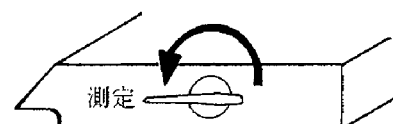
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。



2. 据え付け

据え付け場所

▲ 注意

次のような場所への据え付けは避けてください。

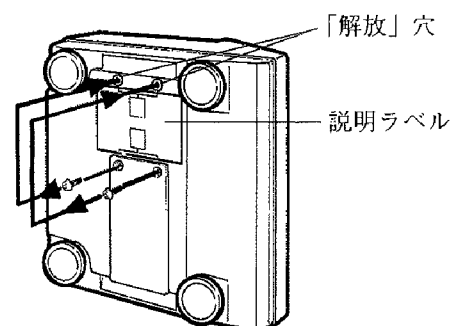
ほこり、風、振動、直射日光、腐食性ガス、電磁波、磁気、高温、高湿、急な温度変化のある所。

▲ 注意

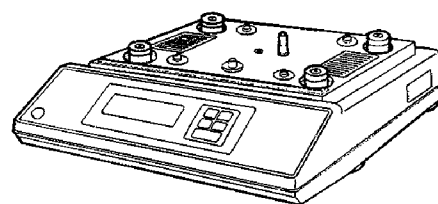
電源電圧の確認

供給電源電圧がヒューズホルダの電圧表示値の $-15\% \sim +10\%$ 以内であることを確認してください。『12. 電源電圧の変更』参照。

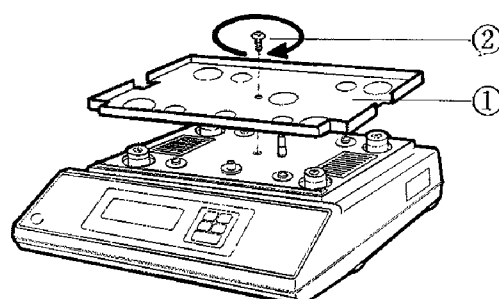
据え付け (1) 天びん本体を横倒しにして、天びん底面の説明ラベルに従って、2本の輸送用固定ネジをはずし、「解放」穴にネジ込みます。



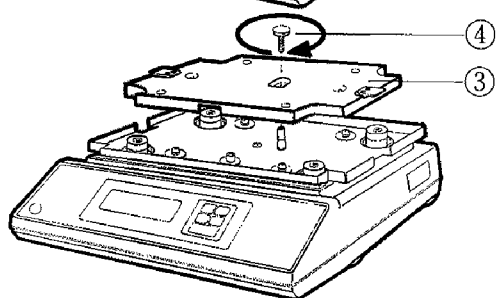
(2) 天びん本体を右図のように置きます。ビニルカバーを取付けるときは、このときに取付けます。後述『ビニルカバーの取付け』参照。



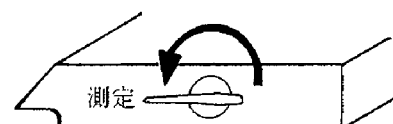
(3) 分銅カバー①を分銅カバー固定ネジ②で固定します。



(4) 内蔵分銅③を置き、分銅抜け止めネジ④を締めます。



(5) 皿の校正レバーを左右2ヶ共 **測定** 位置にします。




島津中形電子天びん
校正分銅内蔵形

EB-KWシリーズ

EB-12KHW, EB-32KDW
EB-16KSW, EB-16KHW
EB-32KSW

取扱説明書



 **島津製作所**

試験計測事業部


島津中形電子天びん
校正分銅内蔵形

EB-KWシリーズ

EB-12KHW, EB-32KDW
EB-16KSW, EB-16KHW
EB-32KSW

取扱説明書



 **島津製作所**

試験計測事業部


島津中形電子天びん
校正分銅内蔵形

EB-KWシリーズ

EB-12KHW, EB-32KDW
EB-16KSW, EB-16KHW
EB-32KSW

取扱説明書



 **島津製作所**

試験計測事業部


島津中形電子天びん
校正分銅内蔵形

EB-KWシリーズ

EB-12KHW, EB-32KDW
EB-16KSW, EB-16KHW
EB-32KSW

取扱説明書



 **島津製作所**

試験計測事業部